

令和4年度 公益財団法人ひょうご子どもと家庭福祉財団

事業報告

自 令和4年4月1日 至 令和5年3月31日

[1] [療育指導事業 (子ども発達支援センター)]

さまざまな障がいのある子どもたちの主体的な発達を支援するために、子ども発達支援センター・こうべ、さんだ、はんしんにおいて、理学療法、作業療法、聴覚言語療法などを用いて働きかけをした。

(1) 通所訓練事業 (個別・グループ)

在籍児数	「子ども発達支援センター・こうべ」	296名
	「子ども発達支援センター・さんだ」	132名
	「子ども発達支援センター・はんしん」	27名
	計	455名
	(前年)	461名

[個別訓練]

月4回または月2回、個別で聴覚言語療法・理学療法・作業療法などを実施した。

計 446名

[グループ訓練]

月2回、グループによる [聴覚言語療法] などを実施した。

○ 聴覚言語療法	「子ども発達支援センター・こうべ」	計 5名
○ 聴覚言語療法	「子ども発達支援センター・さんだ」	計 2名
○ 作業療法	「子ども発達支援センター・さんだ」	計 2名

訓練児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	1名	神戸市	298名
3歳～5歳	70名	三田市	124名
6歳～8歳	181名	西宮市	15名
9歳～12歳	193名	尼崎市	7名
13歳以上	10名	川西市	2名
合計	455名	伊丹市	2名
		芦屋市	1名
		宝塚市	1名
障がい別内訳			
発達障がい	405名	明石市	1名
知的障がい	37名	加東市	2名
肢体不自由	5名	西脇市	0名
重複障がい	5名	多可郡	1名
構音障がい	2名	三木市	1名
その他	1名		
合計	455名	合計	455名

月4回の通所児14名 月2回の通所児436名 月1回の通所児5名

訓練費減額サービス利用人数 8名

(2) 相談・指導事業

相談児内訳：

年齢別内訳		地域別内訳	
0歳～2歳	12名 (12名)	三田市	108名 (125名)
3歳～5歳	61名 (64名)	神戸市	87名 (93名)
6歳～8歳	82名 (92名)	尼崎市	2名 (2名)
9歳～12歳	35名 (45名)	西宮市	2名 (2名)
13歳以上	10名 (11名)	西脇市	1名 (2名)
合計	200名 (224名)		
障がい別内訳			
発達障がい	181名 (203名)		
知的障がい	9名 (9名)		
肢体不自由	3名 (3名)		
構音障がい	2名 (4名)		
重複障がい	1名 (1名)		
その他	4名 (4名)		
合計	200名 (224名)	合計	200名 (224名)

* () は延べ人数

相談内容内訳：

相談内容			
発達評価	72名 (81名)	訓練評価	83名 (85名)
発達相談	38名 (40名)	不定期訓練	5名 (16名)
その他	2名 (2名)		
合計	200名 (224名)		

* () は延べ人数

相談費免除サービス利用件数 200件

(3) 他団体への療育指導事業

療育支援の要請があった施設や学校に、訓練士が出向き、訓練や相談を行った。

派遣先	言語聴覚士	作業療法士	理学療法士
神戸市総合療育センター	10名/週	22名/週	11名/週
神戸市東部療育センター	8名/週	16名/週	5名/週
神戸市西部療育センター	10名/週	25名/週	9名/週
三田市立ひまわり支援学校小学部	1名/月	1名/月	1名/月
三田市立ひまわり支援学校中・高等部	1名/月	1名/月	1名/月
はりま自立の家 (宍粟市)	2名/週	3名/週	6名/週
しろう自立の家 (宍粟市)			1名/週
はんしん自立の家 (宝塚市)			6名/週
井口小児科・内科医院 (神戸市)	1名/週		
猪名川町療育事業	2名/週	2名/週	1名/週
ウエルネット三田	2名/月	2名/月	2名/月
こどもコミュニティケア (神戸市垂水区)	1名/週	1名/週	1名/週
すくすく学級 (芦屋市)		1名(半日)/週	

週、月または年当たりの延派遣人数

(4) (第46回) ことばの巡回相談 (心身障害幼児言語巡回相談指導事業)

吃音や機能的構音障がいなども含めてニーズの掘り起こしをし、より多くの支援を必要とする子どもたちにサービスを提供した。

日 程：令和4年8月1日～8月31日

場 所：兵庫県下の健康福祉センター（保健所）および地域の保健センター 計5か所

指 導：当財団言語聴覚士

指導児数：児と保護者 24組

後 援：兵庫県

実施場所・日程実績内訳：

地域	実施場所	実施日程	人数	地域別 集計
西播	福崎町保健センター	8月 5日 (金)	5名	5名
東播	多可町健康福祉センター	8月 5日 (金)	2名	3名
	高砂市保健センター	8月30日 (火)	1名	
但馬	香美町役場	8月 3日 (水)	3名	16名
	豊岡市保健センター	8月31日 (水)	13名	
合計	5か所		24名	

※継続児童：豊岡市2名

対象児年齢別内訳：

3歳未満	2名
3歳	5名
4歳	8名
5歳	7名
6歳	1名
7歳以上	1名
合 計	24名

障がい別内訳：

言語発達遅滞	8名
構音障がい	6名
知的障がい	2名
発達障がい	4名
吃音	2名
特になし	2名
合 計	24名

(5) 療育研修会

療育の専門職や保護者が、多くの情報をもって、より質の高い支援をするために療育研修会を開催した。

<1> 親子のためのシェルボーン・ムーブメント

「親子で遊ぼうシェルボーン・ムーブメント」

日 程：講義／令和4年11月12日（土）～12月11日（日）

実技／令和4年11月26日（土）

場 所：講義／オンライン配信

実技／子ども発達支援センター・さんだ（希望者のみ）

後 援：日本シェルボーン・ムーブメント協会

講 師：賀好 雅司（当財団 言語聴覚士）

受講者：29名（講義のみ26名、講義+実技3名）

受講者内訳（回答者のみ）：

地域別内訳	人数
兵庫県	10名
東京都	2名
大阪府	2名
群馬県	1名
静岡県	1名
沖縄県	1名
京都府	1名
埼玉県	1名
合計	19名

所属先別内訳	人数
訪問看護・介護ステーション	2名
特別支援学校	1名
児童発達支援・放課後等デイサービス	5名
幼稚園・保育園関係	2名
こども発達支援センター	1名
合計	11名

<2> 発達障がい児への理解と日常生活支援

「みんなが支え合い、自ら動けるクラスづくり～発達が気になる子も輝けるクラスへ～」

日 程：令和4年11月19日（土）

場 所：オンライン配信（子ども発達支援センター・こうべより配信）

講 師：福岡 寿 先生（日本相談支援専門員協会 顧問）

受講者：91名

受講者内訳（回答者のみ）：

地域別内訳		職種別人数	
兵庫県	25名	保育士	37名
福岡県	9名	幼稚園教諭	14名
愛知県	6名	指導員	2名
東京都	5名	その他	8名
青森県	4名		
北海道	3名		
埼玉県	2名		
大阪府、静岡県、茨城県 島根県、岩手県、佐賀県 神奈川県	各1名		
合 計	61名	合計	61名

<3> 重症心身障がい児・者への日常生活支援の実際

「重症心身障がい児・者の支援 ～ 主体的な遊びと主体性のある暮らしの支援 ～」

日 程：令和4年12月11日（日）

場 所：オンライン配信（子ども発達支援センター・こうべより配信）

講 師：高塩 純一 先生（びわこ学園医療福祉センター草津 理学療法士）

受講者：109名

受講者内訳：

地域別内訳		職種別人数	
兵庫県	16名	保育士・指導員	35名
熊本県	11名	理学療法士	21名
大阪府	8名	教員	15名
福岡県、宮崎県	各6名	作業療法士	12名
愛知県、岡山県、香川県		看護師	6名
高知県	各4名	言語聴覚士	5名

静岡県、京都府	各3名		
新潟県、長野県、三重県 滋賀県、広島県、山口県 佐賀県、大分県、沖縄県	各2名		
群馬県、神奈川県、岐阜県 奈良県、愛媛県、長崎県 鹿児島県	各1名		
財団職員	15名	財団職員	15名
合計	109名	合計	109名

<4> シェルボーン・ムーブメント 体験コース

日 程：令和5年2月4日（土）

場 所：長田区文化センター別館 ピフレホール

講 師：平井 真由美 先生（国際シェルボーン協会認定コースリーダー）

受講者：21名

受講者内訳：

地域別内訳		職種別内訳	
兵庫県	3名	言語聴覚士	2名
東京都、山形県、岐阜県		教員	2名
大阪府	各1名	作業療法士	1名
無回答	9名	小児科医	1名
		保育士	1名
		無回答	9名
財団職員	5名	財団職員	5名
合計	21名	合計	21名

<5> 保護者のための療育講座

「おしえて！お子さんの進路と現在 ～先輩ママからの体験談を交えて～」

内 容：保護者が抱えている子どもの将来についての不安が少しでも解消されるよう、支援が必要な中学生・高校生を育てる保護者の体験談や、進路を決めるまでの流れを冊子にまとめ、保護者や関係機関に配布した。

発行数：2,000部

配布時期：令和5年3月より配布開始

助 成：兵庫県共同募金/NHK歳末たすけあい

(6) 講師の派遣

要請のあった団体（学校、幼稚園、保育所、療育施設など）に、職員を講師として派遣した。

派遣先	テーマ	受講者数	実施者
かるがも園	子ども療育講座 ・集団行動が苦手な子どもの理解と支援 ・文章問題が苦手な子どもの理解と支援	のべ 140名	財団職員 2名

神戸市立若葉学園	身体の使い方が不器用な子どもについて	25名	財団職員 1名
洛和会音羽病院	ASD児に対する作業療法	10名	財団職員 1名
三田市フラワータウン地区 民生委員児童委員協議会	発達が気になる子の理解と支援 ～発達支援の現場から～	40名	財団職員 1名

(7) 実習生・研修生の受け入れ指導

言語聴覚士、作業療法士、理学療法士の養成機関より、依頼があった学校の学生を受け入れて、指導した。

種別	学校名	日程	人数	実習地
ST	神戸医療福祉専門学校 三田校 言語聴覚士科	令和4年6月28日 ～8月9日	1名	子ども発達支援センター・さんだ
		令和4年8月17日 ～9月9日	1名	
		令和5年1月10日 ～3月3日	1名	
	姫路医療専門学校 言語聴覚士科	令和4年5月23日 ～6月17日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
		令和4年6月20日 ～7月15日	1名	
		令和3年9月20日 ～11月11日	1名	
	神戸総合医療専門学校 言語聴覚士科	令和4年10月17日 ～11月14日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
1名			子ども発達支援センター・さんだ	
大阪医療福祉専門学校 言語聴覚士学科	令和4年11月7日 ～12月2日	1名	子ども発達支援センター・こうべ	
京都光華女子大学 看護福祉リハビリテーション学部 福祉リハビリテーション学科言語聴覚専攻	令和5年3月6日 ～4月3日	1名	子ども発達支援センター・こうべ 子ども発達支援センター・さんだ	
OT	関西医療大学 保健医療学部 作業療法学科	令和4年6月6日 ～7月29日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
		令和5年1月16日 ～2月17日	2名	
	神戸医療福祉専門学校 三田校 作業療法科	令和4年7月25日 ～9月30日	1名	子ども発達支援センター・さんだ
		令和5年1月16日 ～2月17日	1名	
		令和5年2月27日 ～3月10日	1名	
神戸総合医療専門学校 作業療法士科	令和4年9月5日 ～11月10日	1名	子ども発達支援センター・こうべ	

	兵庫医科大学 リハビリテーション学部 作業療法学科	令和4年6月6日 ～7月29日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
		令和5年1月9日 ～3月4日	1名	
	姫路獨協大学 医療保健学部 作業療法学科	令和4年10月10日 ～10月29日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
	藍野大学 医療保健学部 作業療法学科	令和4年9月5日 ～9月9日	1名	子ども発達支援センター・こうべ
		令和5年2月6日 ～2月10日	1名	
		令和5年2月27日 ～3月3日	1名	
PT	神戸国際大学 リハビリテーション学部 理学療法士学科	令和4年8月29日 ～8月31日	2名	神戸市総合療育センター 猪名川町
	関西総合リハビリテーション専門学校 理学療法学科	令和4年8月22日 ～9月2日	1名	神戸市総合療育センター
	宝塚医療大学 保健医療学部 理学療法士科	令和4年9月5日 ～9月7日	2名	神戸市総合療育センター

(8) 児童発達支援・放課後等デイサービス

◎通所児：児童発達支援	10名（日）
放課後等デイサービス	10名（日）
計	20名

◎保育所等訪問支援

障がいのある子どもが通う小学校、幼稚園を訪問し、集団生活における子どもへの適切な支援について関係者と情報共有を行った。

訪問事案件数：6件

(9) 三田市障害児療育センター（児童発達支援センターかるがも園）

◎児童発達支援（かるがも園）

就学前の障がいのある子どもに対して、一人一人に合わせた専門的な療育を行うとともに、保育スタッフと訓練士が協力して多角的な支援を行った。

在籍児数	かるがも園（週5日単独通園）	20名
	すくすく教室（週1～2親子通園）	38名
	たけのこクラブ（週1日並行通園）	23名
	計	81名
	（年間延べ	5,309名）

通園児・訓練の状況

年齢別内訳		個別訓練	
0歳児	5名	理学療法	77回
1歳児	7名	作業療法・感覚統合療法	508回

兵庫教育大学 学校教育学部 幼児教育グループ	令和4年9月12日～9月27日	1名
湊川短期大学 幼児教育学科	令和4年10月3日～10月17日	1名
神戸親和女子大学 発達教育学部 児童教育学科	令和4年10月17日～10月28日	1名
湊川短期大学 人間生活学科 人間健康専科	令和4年11月4日～11月18日	1名
神戸常盤大学 教育学部 こども教育学科	令和5年1月11日～1月27日	1名
湊川短期大学 幼児教育保育学科	令和5年1月26日～2月8日	2名
	令和5年2月9日～2月22日	2名
神戸松蔭女子学院大学 教育学部教育学科	令和5年2月28日～3月11日	1名
聖和短期大学 保育科	令和5年2月27日～3月10日	1名

園庭開放

保育がない土曜日の午前中に園庭を開放し、園児とそのご家族が遊べる場所を提供した。

実施日	参加人数
令和4年7月23日(土)	園児24名、きょうだい15名、 保護者38名、ボランティア1名 合計78名
令和4年10月22日(土)	園児11名、きょうだい17名、 保護者17名 合計35名
令和4年12月3日(土)	園児9名、きょうだい4名、 保護者12名 合計25名
令和5年3月11日(土)	園児17名、きょうだい9名、 保護者25名、ボランティア5名 合計56名

緑の子育てミーティング

緑にあふれた芝生ひろばを守り育て、芝生を通じて地域の方々とつながりを持つため、定期的にボランティアとミーティングを開催し、芝生の管理作業についての話や、近況報告等を行った。

実施日	参加人数
令和4年4月23日(土)	ボランティア3名、職員2名 合計5名
令和4年5月21日(土)	ボランティア5名、職員5名 合計10名
令和4年6月18日(土)	ボランティア4名、職員3名 合計7名
令和4年7月23日(土)	ボランティア1名、職員1名 合計2名
令和4年10月8日(土)	ボランティア3名、職員2名 合計5名
令和4年11月5日(土)	ボランティア5名、職員2名 合計7名
令和4年12月3日(土)	ボランティア5名、職員2名 合計7名
令和5年2月11日(土)	ボランティア5名、職員2名 合計7名
令和5年3月11日(土)	ボランティア5名、職員1名 合計6名

[2] [激励支援事業]

(1) 第22回 サマースクール

日 程：令和4年7月29日（金）

場 所：三田市野外活動センター

内 容：仲間と一緒に川遊びを楽しみながら、“泳ぎたい”“魚を見つけない”等、“〇〇したい”
という気持ちを引き出し、子どもたちの主体性や協調性を育む支援をした。

援 助：神戸市社会福祉協議会 障害者福祉基金 フェスピック事業助成

参加児：小学生 19名 スタッフ11名 学生ボランティア4名

参加児内訳：

地域別人数		学年別人数	
神戸市	10名	1年生	0名
三田市	6名	2年生	4名
尼崎市	1名	3年生	3名
伊丹市	1名	4年生	4名
加東市	1名	5年生	1名
		6年生	7名
合計	19名	合計	19名

(2) 第43回 夏のレクリエーションツアー

日 程：令和4年9月3日（土）

場 所：キッズニア甲子園

内 容：阪神・神戸地域の障がいのある子どもたちと家族を対象に、楽しみながら仕事にチャ
レンジし、社会のしくみを学ぶことができる「キッズニア甲子園」へのツアーを開催
した。

援 助：兵遊協福祉基金

神戸市社会福祉協議会 児童福祉基金 唐川民間社会福祉団体事業助成

物品寄贈：丸中製菓株式会社・サントリー株式会社神戸支社・アサヒフーズ株式会社

参加者：子どもと家族 73家族 167名 スタッフ 9名

参加者内訳：

地域別人数		年齢別人数（対象児・者）	
神戸市	39家族（84名）	3～5歳	44名
三田市	12家族（28名）	6～8歳	25名
尼崎市	10家族（22名）	9～12歳	12名
西宮市	5家族（11名）	13～15歳	
宝塚市	3家族（7名）		
猪名川町	1家族（5名）		
伊丹市	1家族（4名）		
加東市	1家族（3名）		
川西市	1家族（3名）		
合計	73家族（167名）	合計	81名

(3) 少林寺拳法連盟「KHSCさんだ」秋季レクリエーション

日 程：令和4年10月16日（日）

場 所：三田市野外活動センター

内 容：子ども発達支援センター・さんだの少林寺拳法教室の参加者が交流を深めることを目的に、レクリエーションを開催した。

参加者内訳：中学生以下5名、高校生以上3名、教室指導者6名、保護者2名

(4) 子どもたちの個性を育てる活動

身体活動をとおして、子どもたちの身体能力の発達と精神的な発達を支援した。

中学生・高校生クラブは、将来の社会参加を見据えて、社会適応能力を養った。

場所：子ども発達支援センター・さんだ

活動	実施曜日	登録人数	活動回数	延参加人数
トランポリン	毎週火・木曜日	25名	91回	580名
リズム体育教室	第2・4水曜日	10名	19回	161名
少林寺拳法	毎週日曜日	8名	39回	212名
中学生クラブ	月1回土曜日	2名	14回	12名
高校生クラブ	月1回土曜日	3名	14回	40名
自然体験クラブ	月2回土曜日	26家族	22回	500名

(5) 西宮ストークス バスケットボール 試合招待 Kids Dream Project

プロバスケットボールチーム、西宮ストークスより、子どもたちと家族を試合にご招待いただいた。試合前に選手と一緒に入場するエスコートキッズに参加させていただいたり、西宮ストークスのマスコットキャラクターのストーリーと写真撮影の機会を設けていただいた。

招待日程：令和5年1月21日（土）西宮市立中央体育館 5家族 17名

令和5年2月11日（土）西宮市立中央体育館 10家族 33名

(6) 他団体事業援助

子どもたちの発達援助のために、他団体が開催している事業に援助をした。

- ・兵庫リハビリテーション心理研究会 第37回大会
- ・兵庫リハビリテーション心理研究会 第33回療育キャンプ
- ・日本シェルボーン協会活動支援

(7) 海外療育支援事業

検討作業のみ実施した。

[3] [愛護思想啓発事業]

(1) 啓発文書の発行

- ① 令和3年度 事業報告書
発行日：令和4年5月 発行数：3,500部
- ② 短報の発行
発行日：令和4年9月 発行数：1,900部
令和5年3月 発行数：2,200部
- ③ 「財団だより49号」(機関紙)
発行日：令和4年11月 発行数：3,000部

(2) 令和4年度 療育募金

期 間：令和4年5月～令和5年3月

内 容：子ども発達支援センターの「初回相談料無料」や「非課税世帯への訓練費減免」のために、年間の療育活動に対する募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	6	その他団体	70
ライオンズクラブ	1	個人	27
社会福祉協議会	4		
合 計			108件

(3) 令和4年度「サマープログラム募金」

期 間：令和4年5月～12月

内 容：「夏のレクリエーションツアー」「ことばの巡回相談」「サマースクール」「少林寺拳法 教室秋季レクリエーション」を実施するために募金を行った。

協力団体・個人：

ロータリークラブ	5	その他団体	48
ライオンズクラブ	1	個人	21
社会福祉協議会	3		
合 計			78件

(4) 賛助会員の募集

期 間：通年

内 容：個人や団体に向けて、障がいのある子どもたちへの理解を深めていただき、子どもたちの活動を支援して下さる「賛助会員」を募った。

協力会員数：1,161名（前年1,159名）

(5) チャリティーボックス募金

期 間：通年

内 容：医院やホテル、飲食店などにチャリティーボックスを設置してもらい、募金を呼びかけた。

設置協力数：324ヶ所

(6) 子ども未来応援募金

期 間：通年

内 容：家庭用のチャリティーボックス（募金箱）を配布し、個別寄金を募った。

協力者数：3件

(7) 令和4年度 歳末募金

期 間：令和4年12月～令和5年1月

内 容：障がいのある子どもたちを支援する活動を、継続的に進めるために、個人・団体に向けて、歳末の寄付のお願いを呼びかけた。

協力数：711件（前年度758件）